

人事委員会事務局決算の概要

1 決算総括

人事委員会は、中立的で独立した人事行政の専門機関として、職員採用試験や人事行政に係る報告及び勧告等の業務を実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による採用活動への影響を最小限に抑えるとともに、受験者の安心・安全を確保するため、WEB面接等の新たな手法の導入や、試験会場においても様々な対策を講じたうえで試験を実施した。

また、多様で有為な人物を確保するため、民間企業等職務経験者<ICT・デジタル枠>や土木技術職<先行実施枠>を新たに創設するとともに、国を挙げた就職氷河期世代支援の一環として、同世代の方々を対象とした採用試験を実施した。

一方、適切な勤務条件を確保するため、給与等に関する報告・勧告や、各事業場での勤務状況等を調査する事業場調査を実施した。

今後とも、職員採用試験の在り方や広報活動などに関して、様々な方策を検討するとともに、より本市にふさわしい給与制度や勤務条件について検討を行い、本市の職員力と組織活力の向上を目指していく。

2 重点取組の実績

(1) 有為な人物の採用

取組名	実 績
人物重視による職員採用試験の実施	・第1次試験から受験者全員と個別面接を行う上級Ⅰ「京都方式」をはじめ、全ての採用試験で人物重視の選考を実施
有為な人物を獲得するための広報活動の充実	・新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインによる職員採用ガイダンスや、大学等でのガイダンスの実施、合同企業説明会への参加、SNSの活用やWEBサイトにおけるポップアップ広告の掲載など、多様な手法、媒体を通じて市職員の仕事の魅力発信を強化 ・技術職対象の現場見学会の実施や、理系に特化した合同企業説明会への参加など、職種に応じた広報活動を実施

(2) 適切な勤務条件の確保

取組名	実 績
給与その他の勤務条件に関する報告・勧告の適切な実施	・民間給与と職員給与の比較に基づき、国等の制度との均衡等を考慮のうえ、給与に関する報告及び勧告を実施 ・給与以外の勤務条件について、長時間労働の是正や、時差出勤・在宅勤務等の推進による新しい生活様式への対応、職員の育成・組織の活性化の観点等を踏まえた報告を実施 ・労働関係法令の周知・啓発及び適切な勤務条件の確保等に向けた取組の支援を目的に、事業場調査を実施

(単位:千円)

3 人事委員会事務局所管の決算額

(1)一般会計

ア 歳出

款項		予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
総	務 費	33,300	26,155	-	7,145
	人 事 委 員 会 費	33,300	26,155	-	7,145

4 人事委員会事務局主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	34,200 (△ 900)	33,300	26,155	7,145
(1 人事行政)		34,200 (△ 900)	33,300	26,155	7,145
人 事 行 政	職員任用（採用試験等）	30,132 (△ 697)	29,435	24,542	4,893
	人事委員会勧告・報告	703	703	2	701
	公平審査その他調査	1,834 (△ 137)	1,697	423	1,274
	人事委員会運営	1,531 (△ 66)	1,465	1,188	277

(人事委員会事務局－1)